

令和2年度成果報告書の作成について

予知協・資料 3-1-3

昨年度と同様に、文部科学省 科学技術・学術審議会 測地学分科会 地震火山観測研究計画部会において年次報告のとりまとめが行われるため、年次報告書の作成を行う。

- (1) 「機関別」は冊子体にせず、「成果の概要」および「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」(＝参考資料)を冊子体として年次報告とする。
- (2) 「機関別」は、各研究課題の報告を、実施機関別にまとめる。
- (3) 「成果の概要」は、専門家以外でも読みやすく、具体的な成果がわかりやすいように配慮して作成する。

○ 作成の手順

1 「機関別」報告

- ・ WEB 入力システムを利用して資料を作成する。研究担当者が入力するのは令和2年度の成果の概要等。既に締め切り。
- ・ 入力された報告の抜粋が、地震火山観測研究計画部会(6月)で報告される。報告用パワーポイントは、文部科学省ホームページで公開される。

2 「成果の概要」報告

- ・ 地震火山観測研究計画部会から取りまとめの依頼があった。
- ・ 専門家以外でも読みやすく、具体的な成果がわかりやすいように配慮して作成する。
- ・ これらは「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」報告(次項)に基づき作成する。

3 計画推進部会および総合研究グループ等別の成果(協議会が作成する報告書)

- ・ 各研究推進部会長・総合研究グループリーダー等の協力を得て、「機関別」報告をもとに、計画推進部会・総合研究グループ別の成果をとりまとめる。各部会長、グループリーダーによる報告書という形式をとる。

(計画推進部会長、総合研究グループリーダーらに4月22日締め切りで依頼)

- ・ 「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」資料は、地震火山観測研究計画部会で参考資料として配布する。
- ・ 地震火山観測研究計画部会が年次報告を冊子にする場合、「成果の概要」と「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」が一緒になっている方が便利であるので、「計画推進部会および総合研究グループ等別の成果」を参考資料として「年次報告【成果の概要】」1冊に集約する。

4 今後の日程等

9月頃(文部科学省 地震火山観測研究計画部会) 令和2年度年次報告【成果の概要】完成